

1 火番森（ヒバンムイ）

昔、海軍壕公園一帯は烽火（のろし）を上げて御冠船や進貢船、薩摩船、異国船などの入港を首里王府に知らせる通信の拠点でした。1644年にできた烽火制度によって、沖縄本島や離島の番所に烽火台が設置され、ここもその一つでした。火番森からは慶良間諸島や首里も望むことができます。



2 たいざんいしがんとう 泰山石敢當

除災招福の意味を込めた石柱は中国福建省が発祥地とされています。豊見城市で唯一、ウン（梵字）の一字を筆頭にした石敢當です。泰山は中国山東省泰安市にある世界遺産の山で、魔物が近寄らないほど険しい霊山です。



3 樋川井（ヒージャーガー）

産湯、旧正月の若水をはじめ、生活用水や農耕馬の手入れなどに広く利用されていました。戦前は左右に大小のカーがあり、左側の小さなカーはノロやカミンチュが、右側の大きいカーを住民が利用していました。旧暦6月25日カチシーにすぐ上の森（モー）で綱引きの綱打ちが行われていました。



4 ほんじ ひ 梵字の碑

ニービヌフニと呼ばれる細粒砂岩製の碑で、梵字（古代インドのサンスクリット語を書き表す文字）で彫られています。碑文は上部が失われていますが、残存する部分から「アビラウンケン」と推測され、宇宙を形成する「地、水、火、風、空（空間）」を意味し、密教で宇宙の中心の仏とされる大日如来を表しています。この碑が建立された時期や由来などは不明ですが、魔除けの意味を持つものと考えられます。



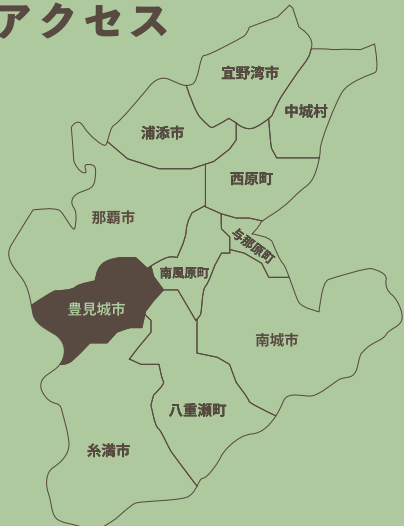
5 スルメーナー

スルメーとはタンメー（祖父）の尊敬語で、ナーは広場の意味です。暮らしに不可欠な火を各家庭に分けるための火種を置いた場所でした。管理は輪番制で主におじいさんが担ったことから、そう呼ばれました。トッデー（間切長）、ウッチ（区長）の火ヌ神が祭られており、また前の通りは、綱引きの場所となっています。



沖縄本島

字豊見城地域へのアクセス



字豊見城地域は、豊見城市の中央を縦断する県道7号線及び県道7号線バイパスの北方に位置し、那覇市小禄地区と隣接しています。古くから文化、経済交流、交通の要衝として栄え、今日に至っています。

地域内には旧海軍司令部壕・ビクターセンター、漫湖・水鳥湿地センターがあり、近年では沖縄空手会館、おきなわ工芸の杜等が開館し、県内外、世界から注目される地域です。

【車でのアクセス】
那覇空港から約15分
沖縄都市モノレール奥武山公園駅から約5分
那覇空港自動車道：豊見城ICから約5分

【路線バスでのアクセス】
系統番号101・105・446（字豊見城バス停で下車）

マップに関する問い合わせ先

字豊見城自治会

電話：098-850-0783
メール：tomigusuku_zichikai@yahoo.co.jp
住所：〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 150

このマップは、令和4年度沖縄らしい風景づくりに係る人材育成事業を活用し、製作しました。



へえ！こんなにあったんだ！
歩いてみよう！

字豊見城 ドゥームラ おさんぽマップ



字豊見城は豊見城市のドゥームラ
（地域名が市町村名と同じ名称の集落のこと）

と呼称され、自分たちが住んでいる市を
代表しているという誇りがある。

まさに字豊見城ドゥームラは
“伝統と誇り高き地域”です。

そして、豊見城グスクの城下町として、
本市の行政・文化・教育の発祥の地として
歩んできました。

また、城主が中国で見た船を伝えたことから、
ハーリー発祥の地とも言われています。

発行：字豊見城自治会

6 豊見城グスク跡

豊見城グスクは、琉球が三山時代の1400年頃、後に南山の王となる汪応祖（わんおうそ）が漫湖沿岸の見晴らしの良い高台に築いたと言われています。その後、三山統一の戦いの際に、中山王の尚巴志による攻撃を受け落城したと言われています。1719年には尚敬王の冊封副使として来琉した徐葆光（じょほうこう）が漢詩に詠み、1853年来航したペリー艦隊一行が残した挿絵や記録が残されており、グスクは三重の郭から成り、五つの城門があったと言われています。城内には、豊見瀬御嶽があり水や雨を司る龍神が祀られているとされ、約300年前の記録には、龍舟競走や雨乞いなどの儀式が行なわれたとあります。その後、城跡は沖縄戦の攻撃を受けて破壊されました。城壁の石は、那覇軍港内への土砂流入防止の石材として利用されるなど、ほとんどの遺構を失ってしまいました。現在は年に一度、ハーリー由来祭りが開催される聖域です。このグスクの名前が豊見城市の地名の由来にもなっています。

7 豊見瀬御嶽（トミセウタキ）

戦前はアーチ状の門構えに木戸造り入り口で内部へは豊見城ノロとピンシー（御願道具）持ちのみが入ることを許されたといわれています。「琉球国由来記」、「琉球国日記」では那覇ハーリーと雨乞いの祭祀に参拝したと伝えています。



8 カカズ ベーチン 嘉数親雲上の墓

屋号「前ン田」の始祖である嘉数親雲上は、農業に秀でており、座間味島からソテツの実を持ち帰り、琉球国の干ばつ時、ソテツの栽培加工法を農民に教えて豊見城の人々を飢饉から救ったとして、王府から親雲上の位と嘉数姓、御拝領墓の土地を賜りました。

9 うたき フスミ御嶽、フスミガー

フスミとは、おへその意味で、字豊見城集落内の中心に位置したことから、そう呼ばれました。近くに井戸もあり、地元の人々から崇められています。



10 呑殿内（ヌンドウンチ）

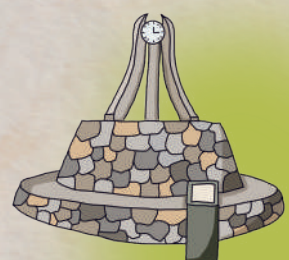
ハーリーの際に、那覇・久米・泊の船の漕ぎ手が豊見瀬御嶽を参拝する祭祀を司りました。神棚にノロ火ヌ神、ノロ神など豊見城のムラ建てにまつわる人物の10個の香炉があります。

字豊見城 ドゥームラ おさんぽマップ

豊見城グスクや海軍壕公園などの歴史資源や漫湖、饒波川といった自然的資源に恵まれている地区で、ハーリー発祥の地とも言われています。

【凡例】

- 文化財等
- カー（沖縄の方言で、井戸または湧水のこと）
- ヒンプン（門と母家との間に設けられる「目隠し」の塀のこと）



たいざんいしがんとう
泰山石敢當

2



樋川井
(ヒージャーガー)

ハル石



三ヶ月井

3

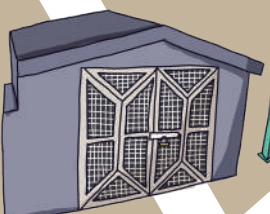
豆腐屋

昭和 30~40 年代頃、集落のほとんどは豆腐屋を営んでいました。



呑殿内
(ヌンドウンチ)

10

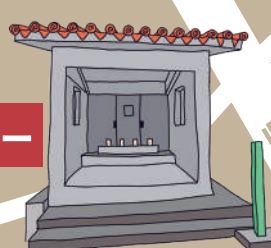


うたき
フスミ御嶽、フスミガー

9

スルメナー

5



カカズ ベーチン
嘉数親雲上の墓

8



見どころ
4

ハーリー発祥の地の豊見瀬御嶽では、那覇ハーリーと豊見城ハーリーの成功と五穀豊穡を祈願するハーリー由来まつりが毎年4月の最後の日曜日に開催されます。御願と御供えをし、ハーリー歌や空手を奉納する古式行事です。

見どころ
5

綺麗な夕日や夜景が見られるところがたくさんあるよ！自分が一番好きな場所を探してみよう！

【オススメ映えスポット4選】

- ・豊見城グスク北側からの漫湖と那覇市の市街地
- ・旧海軍司令部壕公園からの那覇・首里方面の眺め
- ・旧海軍司令部壕公園からの東シナ海のサンセット
- ・旧海軍司令部壕公園からの豊見城市街地の眺め



今回の集落マップの作成にあたって、時代とともに『屋号』を知る人が減少しており、集落内の位置情報を共有する新たな手段として『通り名（通りの名称）』を明記することを試みました。

見どころ
1

漫湖のマングローブ林は、埋め立てや周囲の都市化等が原因でかつては深い入り江や泥干潟だった場所が 1990 年代になりマングローブ林へと変化しました。このため、漫湖にやってくる水鳥の渡来数と種数の減少が問題でしたが、マングローブを一部除去したり、水の流れや鳥の休憩場所を確保したことで、漫湖の水鳥たちが少しずつ戻ってきていることが確認されています。1999 年には日本で 11 番目のラムサール条約湿地として登録されました。

見どころ
2

1993 年（平成5年）11 月に開通したとよみ大橋は、白鳥が羽を休めているイメージって知っていましたか？ 見に行ってみよう！

グスクラガー

6 豊見城グスク跡

7 豊見瀬御嶽（トミセウタキ）



● 布織地（ヌヌバタジー）

● ハーリー発祥の地碑

● 石火矢橋

● 馬場跡

石火矢橋原

前田原

ほんじ
梵字の碑

4

字豊見城公民館

御殿井



番所跡

根屋大屋

ンズシガー

● 豊見城尋常小学校跡地

勢理客原

文
ゆたか小学校

見どころ
3

スルメナー通りでは、その年の豊作に感謝と祈願の意味を込めて旧暦6月25日（カチシー）に、字をアグリ（東）とイリ（西）に分け綱引きをしています。勝負は2度行い、最初に勝った側のヤクミ（自治会役員）が2度目の勝負では相手に加勢して勝ちを譲ります。また、女性は嫁いでも実家側の綱を引いたそうです。門中で分かれることはありませんでした。

旧海軍司令部壕と 沖縄戦のおはなし

沖縄戦の際、海軍の重要な軍事拠点である小禄飛行場（現在的那覇飛行場）を守るため、豊見城丘陵に日本海軍司令部壕がおかれ、激しい戦場となりました。壕内には約 4,000 名の兵士が駐屯し、司令室や兵員室などが設置されていました。また、壕内には井戸や炊事場がなかったため、壕から少し離れたところにある字豊見城集落のヒージャーガーで水汲みし、民家等で炊事をしていました。現在では、平和を発信する戦跡公園として整備され、平和学習の拠点として、県内外から多くの方々が訪れています。高台に位置した同公園は、東シナ海や豊見城市、那覇・首里方面が見渡せるため、サンセット時になると「映えスポット」として多くの人で賑わうエリアにもなっています。